

平成 27 年度
教育に関する事務の管理及び
執行状況の点検・評価結果報告書
(平成 26 年度事業対象)

平成 27 年 12 月

愛川町教育委員会

目 次

I	趣旨	1
II	点検・評価の対象	1～ 2
III	点検・評価の方法等	3～ 4
IV	教育委員会会議及び教育委員の活動状況	5～12
V	教育理念・めざす人間像及び教育基本方針	13～14
VI	点検・評価計画表	15
VII	平成26年度の施策（事業）の点検・評価	17～49
	愛川町教育委員会委員名簿	50

I 趣 旨

教育委員会では、教育行政に関して町民に対する説明責任を果たすとともに、町民の視点に立った成果重視の効果的な教育行政を推進するため、教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価を実施し、報告書としてまとめたものです

II 点検・評価の対象

前年度に実施した教育委員会の事務の管理及び執行のうち、主要な事業について点検・評価を行う。なお、点検・評価の対象とする具体的な事業名等については、次のとおりです。

重 点 施 策		点検・評価対象事業
1 学校教育の 推進	(1)生きる力を育む教育 の充実	①情報教育推進事業
		②小中学校国際教育推進事業
		③小中学校図書館指導員派遣事業
		④小中学校学習活動サポーター派遣事業
		⑤教育振興教材購入事業
		⑥理科教育設備備品購入事業
	(2)魅力ある学校づくり 推進事業	①魅力ある学校づくり推進事業
	(3)教育の機会均等の確 保と個に応じた教育 の推進	①小中学校児童生徒介助員派遣事業
		②特別支援教育支援員派遣事業
		③要保護・準要保護児童生徒就学援助事業
		④特別支援教育就学奨励事業
		⑤私立幼稚園就園奨励費補助事業
		⑥高等学校等就学助成事業
	(4)教育課題の開発・研 究	①教育開発センター事業
		②スクールカウンセラー派遣事業
		③適応指導教室運営事業
		④児童生徒教育相談事業
		⑤キャリア教育推進事業
		⑥教職員研修事業
	(5)安全・安心の学校づ くり、学校環境づく り	①学校保健事業
②小学校給食運営事業		
③中学校給食運営事業		

重点施策		点検・評価対象事業
		④小中学校給食費補助事業
		⑤学校施設維持管理事業
		⑥学校施設整備事業
2 生涯学習の推進	(1)生涯学習の推進	①生涯学習推進事業
		②男女共同参画推進事業
		③文化会館運営事業
		④半原公民館運営事業
		⑤中津公民館運営事業
		⑥図書館運営事業
3 家庭教育の推進・青少年健全育成の推進	(1)家庭教育の支援の充実	①PTA活動推進事業
	(2)青少年健全育成の推進	①青少年健全育成事業
		②青少年指導者養成事業
		③地区健全育成組織活動推進事業
		④子ども会育成事業
		⑤成人式等開催事業
		⑥放課後児童クラブ事業
		⑦かわせみ広場事業
		⑧青少年施設管理事業
4 スポーツ・レクリエーションの推進	(1)コミュニティースポーツの推進	①各種スポーツ行事開催事業
		②町体育協会等補助事業
		③スポーツ施設予約システム管理事業
		④体育施設管理運営事業
		⑤学校開放推進事業
5 文化の振興	(1)芸術文化の振興	①文化振興団体補助事業
		②町文化協会補助事業
	(2)文化財保護の推進	①文化財保護事業
		②郷土資料館管理運営事業
		③古民家管理運営事業

Ⅲ 点検・評価の方法等

1 点検・評価の方法

事業の目的・内容等から、妥当性、有効性、効率性、公平性の観点に立って、成果等について点検・評価を行ったうえで、事業全体の改善の余地について検討を行い、事業の方向性について総括を行いました。

なお、前年度より対象となる主要事業を次のとおり分割し、3年間のローテーションですべての事業について点検・評価を行うこととしました。

【各年度の対象事業数】

平成25年度	17事業（平成24年度事業対象）	
平成26年度	17事業（平成25年度事業対象）	
平成27年度	16事業（平成26年度事業対象）	
	合計	50事業

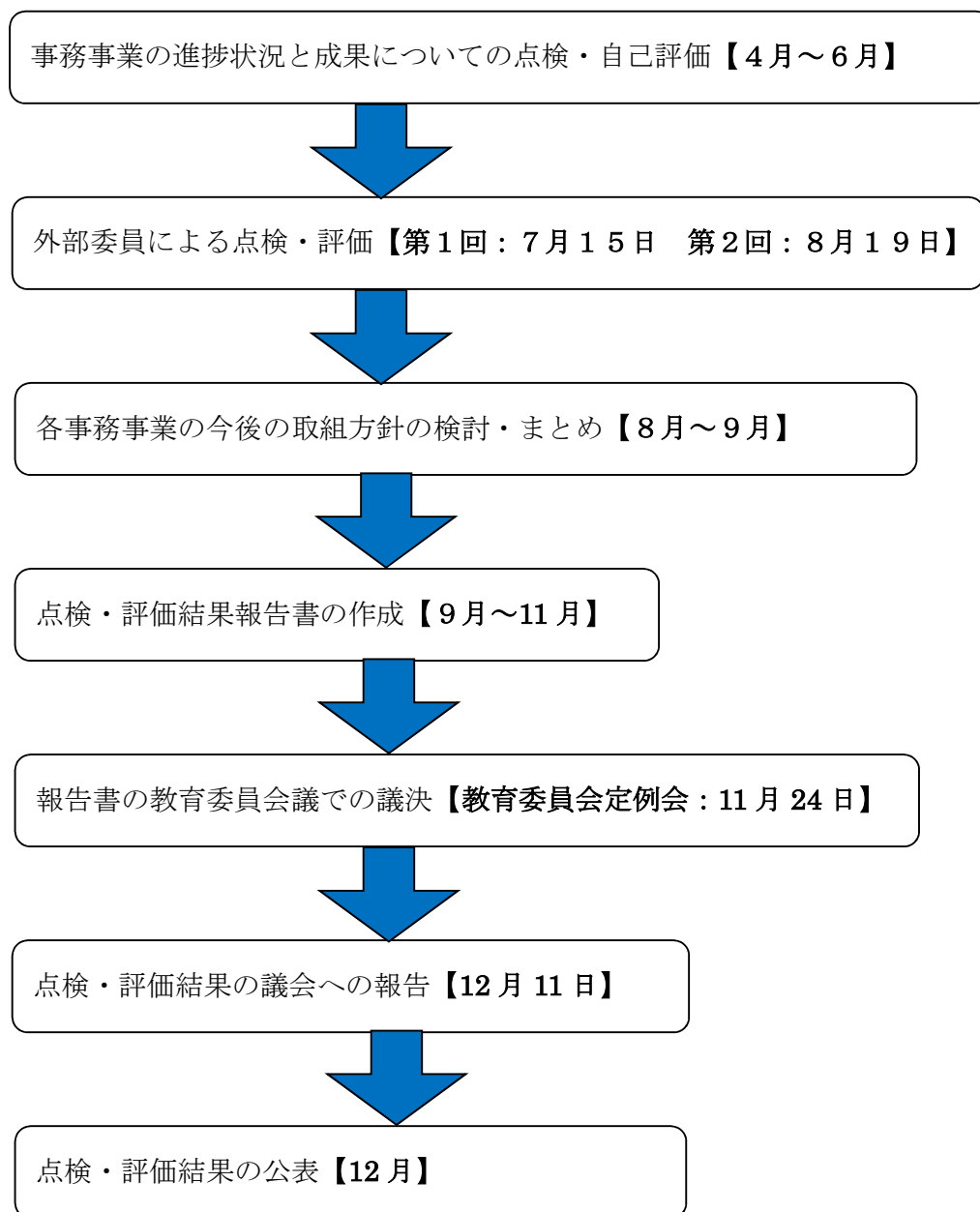
2 点検・評価委員会委員による点検・評価

点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する外部評価者から意見をいただき、点検・評価を実施しました。

【点検・評価委員会委員】

氏名（敬称略）	選出区分
平本 幸一	学校教育関係者
足立原 隆之	保護者
藤本 弘	生涯学習関係者
翁長 陽子	公募委員

3 点検・評価の流れ



【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

IV 教育委員会会議及び教育委員の活動状況

1 平成26年度 教育委員会会議の開催状況

教育委員会の会議は毎月開催される定例会と必要に応じ開催される臨時会があり、次のとおり開催し審議を行いました。

また、定例会の開催にあわせて、懸案事項等を協議する協議会を開催しました。

(平成26年4月から平成27年3月まで)

開催日	区分	議 事 等
4月14日	定例会	【議案】 <ul style="list-style-type: none"> 平成27年度愛川町立小・中学校で使用する教科用図書の採択に係る愛川町教育委員会の方針について（第1号） 愛川町社会教育委員の委嘱について（第2号） 愛川町教育委員会表彰被表彰者の決定について（第3号） 【報告】 <ul style="list-style-type: none"> 教育長報告事項 平成26年度教職員配置状況等について 平成26年度教育委員会事務局職員人事異動について 愛川町放課後児童健全育成事業実施要綱の一部改正について
	全員協議会	<ul style="list-style-type: none"> キャリア教育・職場体験について 平成25年度町立中学校1・2年生学力検査結果について 教育委員会の点検評価について 教育委員会表彰の役割分担について 学校訪問について
5月26日	定例会	【議案】 <ul style="list-style-type: none"> 愛川町社会教育委員の委嘱について（第4号） 【報告】 <ul style="list-style-type: none"> 教育長報告事項 平成26年度愛川町就学指導について 平成25年度町立中学校1・2年生学力検査の結果について 平成25年度問題行動調査について 【その他】 <ul style="list-style-type: none"> 青少年県外交流について 平成27年成人式について
	全員協議会	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校の児童・生徒数について 学校訪問について

開催日	区分	議 事 等
6月23日	定例会	<p>【報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育長報告事項 ・平成26年度第2回愛川町議会定例会について ・子ども・子育て支援新制度に係る関係条例のパブリック・コメント手続きについて <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年成人式について
	全員協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会の点検・評価について ・「あいかわ子育ていきいき宣言」写真コンクールについて
7月9日	臨時会	<p>【議案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛川町教育委員会委員の辞職について（第5号） ・愛川町生涯学習推進プラン推進委員会委員の委嘱について（第6号） ・愛川町男女共同参画基本計画推進委員会委員の委嘱について（第7号）
7月28日	定例会	<p>【議案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度使用教科用図書採択について（第8号） <p>【報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育長報告事項 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県外交流事業参加者名簿について
	全員協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会の点検・評価について ・平成26年度愛川町子ども議会について
8月25日	定例会	<p>【議案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛川町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について（第9号） <p>【報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育長報告事項 ・平成27年度使用教科用図書の採択について ・愛川町指定重要文化財の貸出及び所在変更について <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会の点検・評価について ・愛川町図書館構想づくり進捗状況について
	全員協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・今後のスケジュールについて

開催日	区分	議 事 等
9月22日	定例会	<p>【議案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会委員長の選挙について（第10号） ・教育委員長職務代理者の指定について（第11号） <p>【報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育長報告事項 ・平成26年度第3回議会定例会について <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会点検・評価について ・食物アレルギーについて ・子ども議会について ・町民みなふれあい体育大会について
	全員協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度全国学力・学習状況調査について ・問題行動調査（短期調査）について ・子育ていきいき宣言写真コンクールについて
10月27日	定例会	<p>【議案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会表彰（随時）被表彰者の決定について（第12号） <p>【報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育長報告事項 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会点検・評価について
	全員協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・「あいかわ子育ていきいき宣言」写真コンクールについて
11月25日	定例会	<p>【議案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価結果報告書（平成25年度事業対象）について（第13号） <p>【報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育長報告事項 ・全国学力・学習状況調査の結果について <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度予算への意見・提言について ・立志式について
	全員協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査の結果について ・平成26年度児童・生徒の問題行動等に関する短期調査（第2期）の結果について
12月22日	定例会	<p>【議案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度以降の教科用図書採択地区について（第14号）

開催日	区分	議 事 等
		【報告】 ・教育長報告事項 ・平成26年第4回愛川町議会定例会について 【その他】 ・全国学力・学習状況調査の結果を受けて各学校が取り組んでいる対策について ・愛川町一周駅伝競走大会及びミニ駅伝競走大会について ・平成27年愛川町成人式について ・愛川町図書館構想について
	全員協議会	・その他
1月26日	定例会	【報告】 ・教育長報告事項 【協議】 ・神奈川県教科用図書愛甲採択地区協議会規約について ・教育懇話会について 【その他】 ・全国体力・運動能力・運動習慣等調査について ・かながわ駅伝競走大会について ・平成27年立志式について ・卒業式・入学式「教育委員会のことば」について
	全員協議会	・平成27年度「愛川の教育」について ・学校訪問について ・愛川町立小中学校の卒業式・入学式の日程及び出席者について ・改正地方教育行政法に係る町条例等の改正について
2月23日	定例会	【議案】 ・愛川町立小中学校長及び教頭の任免内申について（第15号） ・神奈川県教科用図書愛甲採択地区協議会規約について（第16号） ・愛川町いじめ問題調査委員会及び愛川町いじめ問題検証委員会条例について（第17号） ・愛川町教育委員会教育長の給与その他の勤務条件に関する条例及び愛川町長等常勤の特別職の給与に関する条例の一部改正について（第18号） ・愛川町附属機関の設置に関する条例の一部改正について（第19号） ・愛川町非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の

開催日	区分	議 事 等
		<p>一部改正について（第20号）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度愛川町教育委員会表彰（随時）被表彰者の決定について（第21号） <p>【協議】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度教育予算について <p>【報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育長報告事項 ・平成27年度教職員人事配置状況について ・平成27年度愛川町就学措置について <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第69回市町村対抗「かながわ駅伝競走大会」の結果について ・愛川町議会議員会条例の一部改正について
	全員協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度「愛川の教育」について ・児童・生徒の問題行動等に関する短期調査について ・いじめ防止基本方針の見直しについて
3月23日	定例会	<p>【議案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛川町教育基本方針について（第22号） ・愛川町いじめ防止基本方針の改正について（第23号） ・愛川町教育委員会事務決裁規程の一部を改正する規程の制定について（第24号） ・愛川町教育委員会事務局及び関係機関の組織等に関する規則の一部を改正する規則の制定について（第25号） ・町長の権限に属する事務の一部を教育委員会に委任する規則の一部を改正する規則の制定について（第26号） ・愛川町図書館構想策定委員会規則を廃止する規則の制定について（第27号） ・愛川町文化財保護条例施行規則の一部を改正する規則の制定について（第28号） ・愛川町立公民館長の任命について（中津公民館）（第29号） ・愛川町立公民館長の任命について（半原公民館）（第30号） ・愛川町立公民館長の任命について（文化会館）（第31号） ・平成27年度愛川町教育委員会表彰被表彰者の決定について（第32号） <p>【報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育長報告事項 ・平成27年第1回愛川町議会定例会について

開催日	区分	議 事 等
		<ul style="list-style-type: none"> ・愛川町埋蔵文化財調査員設置要綱について 【その他】 ・愛川町特別職報酬等審議会規則の一部を改正する規則の制定について
	全県協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会及び研修会について ・愛川町学校給食異物混入対応マニュアルについて

2 教育委員の活動

教育委員は、定例会以外に小・中学校への学校訪問や各種教育委員会主催行事及び研修会等に参加しており、活動は次のとおりです。

(平成26年4月から平成27年3月まで)

活 動 日	内 容
4月 1日	教職員辞令伝達式（町文化会館会議室）
7日	小・中学校入学式
8日	愛川高等学校入学式
9日	県市町村教育委員会連合会第1回役員会及び総会（横須賀市）
29日	教育委員会表彰式（町文化会館会議室）
5月 14日	社会福祉協議会理事会
16日	関東甲信越静教育委員会連合会総会及び研修会
～17日	（長野県長野市）
24日	中学校体育大会（全校）
31日	小学校運動会（中津・高峰・田代・半原・菅原小）
28日	社会福祉協議会理事会・評議員会
6月 23日	学校訪問（田代小・半原小）
7月 1日	町長就任式
7月 17日	青少年問題協議会
	社会福祉協議会理事会
31日	教育委員長辞令交付式
8月 25日	教育講演会（町文化会館ホール）
9月 4日	教育委員辞令交付式
6日	ふれあい広場（田代運動公園）
27日	小学校運動会（中津第二小）
30日	社会福祉協議会理事会

活 動 日	内 容
10月 1日	教育委員辞令交付式 副町長就任式
10日	小学校連合運動会（三増公園陸上競技場）
12日	ふれあい体育大会
18日	中学校文化発表会（愛川東中、愛川中、愛川中原中） 町社会福祉大会（町文化会館ホール）
19日	三増合戦まつり
27日	学校訪問（中津小、中津第二小、愛川東中）
11月 3日	愛川町表彰式（町役場）
14日	小学校連合音楽会（町文化会館ホール）
15日	町交通安全推進大会
25日	学校訪問（愛川中原中、愛川中） 教育委員会表彰式（文化・スポーツ関係）
12月 6日	人権啓発のつどい（町文化会館会議室）
18日	社会福祉協議会理事会・評議員会
1月 10日	町消防出初め式
11日	町一周駅伝競走大会・成人式
17日	福祉団体合同賀詞交歓会
2月 6日	立志式
11日	ともしび福祉講演会
19日	青少年問題協議会
23日	学校訪問（高峰小・菅原小）
3月 1日	愛川高等学校卒業式
12日	社会福祉協議会理事会
13日	中学校卒業式
20日	小学校卒業式
23日	教育委員会表彰（文化・スポーツ関係）
26日	社会福祉協議会理事会・評議員会
31日	教職員辞令伝達式

3 教育委員会定例会・臨時会における審議案件の件数

(平成26年4月から平成27年3月まで)

審 議 案 件	議 案	協 議	報 告
① 教育に関する事務の管理及び執行の基本的方針	2	0	4
② 教育委員会に係る条例、規則等の制定及び改廃など	10	2	2
③ 教育予算その他議会の議決を経るべき事件についての意見の申し出	0	2	0
④ 人事に関する事	7	0	3
⑤ 法令又は条例の定めのある附属機関の委員の委嘱	4	0	0
⑥ 教科書の採択に関する事	4	0	1
⑦ 新たな計画に関する事	0	1	1
⑧ 表彰に関する事	4	0	1
⑨ 教育財産の取得申し出	0	0	0
⑩ 文化財の指定及びその解除	0	0	0
⑪ その他	1	20	44
合 計	32	25	56

V 教育理念・めざす人間像及び教育基本方針

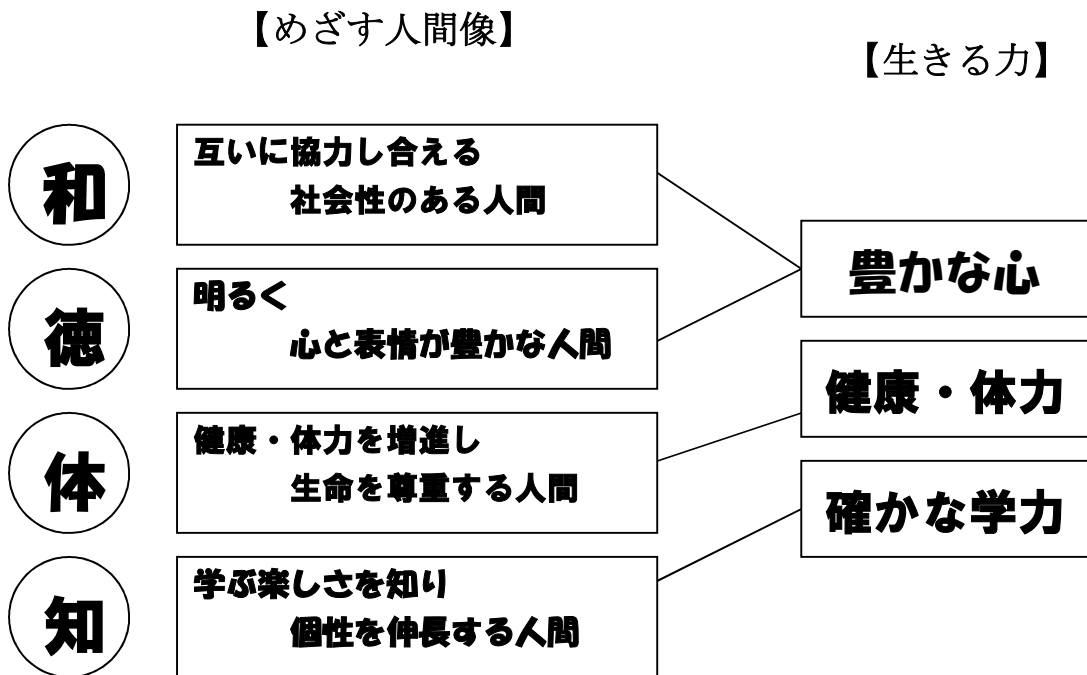
1 教育の理念

人間とは、『豊かな感性』『理性』『たぐいまれな創造力』に恵まれ、可能性を内に秘めた優れた資質と能力の持ち主です。

人間の持つ可能性を、最大限に伸ばし、育むために、『人間と人間』『人間と自然』『人間と社会』との関わりを通して、日々くり返し営まれるものが教育の営みです。

2 めざす人間像

学校・家庭・地域の教育力を生かし、「和・徳・体・知」の4点の調和のとれた人間を、本町の教育がめざす人間像とします。



3 基本方針

◆魅力ある学校づくりを進めるとともに、児童・生徒の「生きる力」の育成を推進します。

- 地域に開かれた特色ある学校づくりを通して、児童・生徒、保護者、地域の方にとって学校が魅力あるものとなるよう努めていきます。
- 「豊かな心」「健康・体力」「確かな学力」など、児童・生徒の「生きる力」の育成に努めていきます。

◆児童・生徒が安全に安心して学校生活を過ごせるよう、教育環境・学校施設の整備と充実を推進します。

- 各種派遣事業や相談事業の充実を通して、一人ひとりの児童・生徒のニーズに応じた教育の推進、不登校・いじめ問題の解消などに努めていきます。
- 安全指導や防災対策の推進を図り、学校施設の整備と充実に努めていきます。

◆多様な学習機会を創出し、学習活動に必要な施設の充実や人材の育成と確保により地域に根ざした生涯学習を推進します。

- 多様な学習ニーズや活動欲求に応じた、生涯学習活動の充実に努めていきます。
- 生涯学習の拠点となる公民館や図書館の機能充実を図り、地域コミュニティの活性化に努めていきます。

◆家庭・地域・学校の連携を強化し、家庭教育の支援や地域の教育力の向上と青少年の健全育成を推進します。

- 社会の一員として自覚ある行動がとれる人づくりの推進を図るため、家庭教育の支援に努めていきます。
- ふれあい活動や体験活動、交流活動などを促進し、青少年の健全育成に努めていきます。

◆「町民みなスポーツの町」宣言の趣旨に基づき、スポーツの振興・普及を推進します。

- 社会体育・スポーツの振興を図るため、スポーツ関係団体の育成に努めていきます。
- 町民の健康・体力づくり、スポーツ技術の向上、運動施設利用の推進等に努めていきます。

◆心豊かな社会としていくため、芸術・文化活動の振興と文化財保護を推進します。

- 芸術・文化活動の振興に努めていきます。
- 歴史や伝統文化を尊重し、文化財を有効活用して地域の特色を生かした文化を築くよう努めていきます。

VI 点検・評価計画表(平成25年度～平成27年度)

重点施策	点検・評価対象事業	各年度の点検・評価対象事業			
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	
1 学校教育の推進	(1)生きる力を育む教育の充実	①情報教育推進事業 ②小中学校国際教育推進事業 ③小中学校図書館指導員派遣事業 ④小中学校学習活動サポーター派遣事業 ⑤教育振興教材購入事業 ⑥理科教育設備備品購入事業	①情報教育推進事業 ④小中学校学習活動サポーター派遣事業	②小中学校国際教育推進事業 ⑤教育振興教材購入事業	③小中学校図書館指導員派遣事業 ⑥理科教育設備備品購入事業
	(2)魅力ある学校づくりの推進	①魅力ある学校づくり推進事業	①魅力ある学校づくり推進事業		
	(3)教育の機会均等の確保と個に応じた教育の推進	①小中学校児童生徒介助員派遣事業 ②特別支援教育支援員派遣事業 ③要保護・準要保護児童生徒就学援助事業 ④特別支援教育就学奨励事業 ⑤私立幼稚園就園奨励補助事業 ⑥高等学校等就学助成事業	③要保護・準要保護児童生徒就学援助事業 ⑥高等学校等就学助成事業	①小中学校児童生徒介助員派遣事業 ④特別支援教育就学奨励事業	②特別支援教育支援員派遣事業 ⑤私立幼稚園就園奨励補助事業
	(4)教育課題の開発・研究	①教育開発センター事業 ②スクールカウンセラー派遣事業 ③適応指導教室運営事業 ④児童生徒教育相談事業 ⑤キャリア教育推進事業 ⑥教職員研修事業	③適応指導教室運営事業 ⑥教職員研修事業	①教育開発センター事業 ④児童生徒教育相談事業	②スクールカウンセラー派遣事業 ⑤キャリア教育推進事業
	(5)安全・安心の学校づくり、学校環境づくり	①学校保健事業 ②小学校給食運営事業 ③中学校給食運営事業 ④小中学校給食費補助事業 ⑤学校施設維持管理事業 ⑥学校施設整備事業	③中学校給食運営事業 ⑥学校施設整備事業	①学校保健事業 ④小中学校給食費補助事業	②小学校給食運営事業 ⑤学校施設維持管理事業
2 生涯学習の推進	(1)生涯学習の推進	①生涯学習推進事業 ②男女共同参画推進事業 ③文化会館運営事業 ④半原公民館運営事業 ⑤中津公民館運営事業 ⑥図書館運営事業	③文化会館運営事業 ⑥図書館運営事業	①生涯学習推進事業 ④半原公民館運営事業	②男女共同参画推進事業 ⑤中津公民館運営事業
	(2)青少年健全育成の推進	①PTA活動推進事業 ②青少年健全育成事業 ③青少年指導者養成事業 ④地区健全育成組織活動推進事業 ⑤子ども会育成事業 ⑥成人式等開催事業 ⑦放課後児童クラブ事業 ⑧かわせみ広場事業 ⑨青少年施設管理事業	②青少年指導者養成事業 ⑤成人式等開催事業 ⑧青少年施設管理事業	①PTA活動推進事業 ⑥放課後児童クラブ事業	①青少年健全育成事業 ④子ども会育成事業 ⑦かわせみ広場事業
3 家庭教育の推進・青少年の育成の推進	(1)家庭教育の支援の充実	①各種スポーツ行事開催事業 ②町体育協会等補助事業 ③スポーツ施設予約システム管理事業 ④体育施設管理運営事業 ⑤学校開放推進事業	③スポーツ施設予約システム管理事業	①各種スポーツ行事開催事業 ④体育施設管理運営事業	②町体育協会等補助事業 ⑤学校開放推進事業
	(2)文化財保護の推進	①文化振興団体補助事業 ②町文化協会補助事業	①文化振興団体補助事業	②町文化協会補助事業	
4 スポーツ・レクリエーションの推進	(1)コミュニティスポーツの推進	①文化財保護事業 ②郷土資料館管理運営事業 ③古民家管理運営事業	②郷土資料館管理運営事業	③古民家管理運営事業	①文化財保護事業
	(2)文化財保護の推進				
5 文化の振興	(1)芸術・文化の振興				
	(2)文化財保護の推進				
点検・評価項目数		50事業	17事業	17事業	16事業

Ⅶ 平成26年度の施策(事業)の点検・評価

《点検・評価シート目次》

No.	事業番号	事業名	担当課	ページ
1	1-(1)-③	小中学校図書館指導員派遣事業	教育総務課・指導室	18～19
2	1-(1)-⑥	理科教育設備備品購入事業	教育総務課・指導室	20～21
3	1-(3)-②	特別支援教育支援員派遣事業	教育総務課・指導室	22～23
4	1-(3)-⑤	私立幼稚園就援奨励補助事業	教育総務課	24～25
5	1-(4)-②	スクールカウンセラー派遣事業	教育総務課・ 教育開発センター	26～27
6	1-(4)-⑤	キャリア教育推進事業	教育総務課・ 教育開発センター	28～29
7	1-(5)-②	小学校給食運営事業	教育総務課	30～31
8	1-(5)-⑤	学校施設維持管理事業	教育総務課	32～33
9	2-(1)-②	男女共同参画推進事業	生涯学習課	34～35
10	2-(1)-⑤	中津公民館運営事業	生涯学習課	36～37
11	3-(2)-①	青少年健全育成事業	生涯学習課	38～39
12	3-(2)-④	子ども会育成事業	生涯学習課	40～41
13	3-(2)-⑦	かわせみ広場事業	生涯学習課	42～43
14	4-(1)-②	町体育協会等補助事業	スポーツ・文化振興課	44～45
15	4-(1)-⑤	学校開放推進事業	スポーツ・文化振興課	46～47
16	5-(2)-①	文化財保護事業	スポーツ・文化振興課	48～49

平成 27 年度教育委員会事務点検評価シート（平成 26 年度事業対象）

《基本方針》

- ◆魅力ある学校づくりを進めるとともに、児童・生徒の「生きる力」の育成を推進します。
- ◆児童・生徒が安全に安心して学校生活を過ごせるよう、教育環境・学校施設の整備と充実を推進します。

1 学校教育の推進	(1) 生きる力を育む教育の充実
事業名	③小中学校図書館指導員派遣事業(款 9・ 項 1・ 目 3)
主管課	教育総務課・指導室
事業の目的	愛川町立学校図書館の充実を図り、もって、児童・生徒及び教員の利用に供するため、愛川町学校図書館指導員を巡回派遣する。
平成 26 年度の実績	各町立学校図書館に 1 日 6 時間、6 8 日派遣した。 図書館資料の購入・保管・廃棄、分類及び目録の整備、児童・生徒及び教職員の利用、修理及び製本に関することなど、図書館運営上欠かせない業務を学校図書館担当者とともにすすめた。 平成 2 6 年度 3, 4 2 6, 5 2 3 円 【平成 2 5 年度事業費】 3, 3 2 7, 9 3 4 円 【平成 2 4 年度事業費】 3, 2 9 5, 7 7 8 円
成果と課題	○ 各町立学校図書館において、季節や学習内容に応じた図書の配架や掲示がされ、工夫された読書活動推進の取組みがされた。 ○ 派遣日数が限られているため、新しい図書の受け入れ等に時間がかかってしまったり、読み聞かせ等、読書指導にあてる時間が限られたりしていることなどが課題である。

点検評価委員の意見	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本事業は、活字離れと言われている中で、児童生徒が読書に関心を持ち、読書を通して内面の豊かさを育むことに役立っていると考えます。 ○ この事業をさらに充実させるためには、指導員の資質の向上とともに、学校間の連携強化や情報の共有、事例を含む研修等が求められると思います。 ○ 今後においては、派遣日数が68日と少ないため、本の整理などが中心となっているように見受けられますので、読書指導にも時間が取れるような工夫を凝らすなど効果的な活用を検討してほしいと思います。 ○ 指導員の派遣は、図書の適切な配架など環境整備はもとより、学習内容や児童生徒に応じた情報提供に対応することや、読書活動への支援など、きわめて有効です。 ○ 司書教諭全校配置が叫ばれて久しいが、司書教諭の有資格者数や校務分掌上の配置等で後回しにされている感がある。こ
-----------	--

	<p>うした状況での図書館指導員の派遣は意義深いものがある。以前某学校の図書室を見たら、本(新書)の紹介コーナーや整理された棚など環境作りに工夫されて、指導員派遣の効果を感じた次第です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 中学校区で1名の派遣とのことですが、派遣日や業務内容等の連絡調整会の実施や図書主任・読み聞かせボランティア・児童生徒の委員会活動等々の関わり方を研究し更に効果のある事業となるように期待します。 ○ 読書に関わることは、子どもたちの教育に重要だと考えております。また、学校図書は子どもたちの身近なものとして、子どもたちの好奇心を発展させるものであり、教養を深めるものだと思います。指導員の更なる充実を図りながら、図書の満足度を上げるためにもアンケートなどを実施するなどの工夫をして、子どもたちの図書への利用を増加するよう励んでいただきたいです。
<p>教育委員会の考え方 (今後の取組)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校図書館は、活字離れが危惧される昨今、児童生徒が読書に関心を持ち、読書を通して内面の豊かさを育むことに大変有効である。 ○ 学校図書館の運営は、担当教職員が中心となり進められているが、図書館指導員による業務により、図書の管理や図書館資料の整備などがより充実していることから、ニーズに見合った派遣日数の確保に努める。

平成 27 年度教育委員会事務点検評価シート（平成 26 年度事業対象）

《基本方針》

- ◆魅力ある学校づくりを進めるとともに、児童・生徒の「生きる力」の育成を推進します。
- ◆児童・生徒が安全に安心して学校生活を過ごせるよう、教育環境・学校施設の整備と充実を推進します。

1 学校教育の推進	(1) 生きる力を育む教育の充実												
事業名	⑥理科教育設備備品購入事業(款9項2目3、款9項3目3)												
主管課	教育総務課・指導室												
事業の目的	理科教育振興法に基づき、理科教育を通じて、科学的な知識、技能及び態度を習得させるとともに、工夫創造の能力を養うことを目的に、理科教育に係る教材備品の充実を図る。 (国庫補助事業 補助率 1/2)												
平成 26 年度の実績	<p>◆平成 26 年度購入教材</p> <p>顕微鏡、気体採取器、流水の働き実験器など</p> <table border="0"> <tr> <td>小学校</td> <td>272,000 円</td> <td>(国庫補助金)</td> <td>136,000 円</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>734,000 円</td> <td></td> <td>367,000 円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,006,000 円</td> <td></td> <td>503,000 円</td> </tr> </table> <p>【平成 25 年度事業費】 1,006,000 円 (国庫補助金) 508,000 円 【平成 24 年度事業費】 1,006,000 円 (国庫補助金) 328,000 円</p>	小学校	272,000 円	(国庫補助金)	136,000 円	中学校	734,000 円		367,000 円	合計	1,006,000 円		503,000 円
小学校	272,000 円	(国庫補助金)	136,000 円										
中学校	734,000 円		367,000 円										
合計	1,006,000 円		503,000 円										
成果と課題	<p>○ 小中学校に必要な教材を購入し円滑に授業が実施され、教育環境の充実が図られた。</p> <p>○ 国では理科教育設備整備費等補助金交付要綱に基づき国庫補助金を市町村へ交付しているが、要綱の中で1校あたりに整備しておくべき備品の基準金額を設けている。本町の現状では基準金額の61.2%の整備状況にとどまっており、更なる整備を目指す。</p> <p>《基準金額》</p> <table border="0"> <tr> <td>小学校</td> <td>10,341 千円</td> <td>(整備状況 64.66%)</td> <td>6,687 千円)</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>22,344 千円</td> <td>(整備状況 57.74%)</td> <td>12,902 千円)</td> </tr> </table>	小学校	10,341 千円	(整備状況 64.66%)	6,687 千円)	中学校	22,344 千円	(整備状況 57.74%)	12,902 千円)				
小学校	10,341 千円	(整備状況 64.66%)	6,687 千円)										
中学校	22,344 千円	(整備状況 57.74%)	12,902 千円)										
点検評価委員の意見	<p>○ 全国的に理科離れが言われている中で、小中学校に必要な教材の購入は、教育環境の継続と充実にとっては基本的なことですが、各学校からの要望に全て対応することは財政的にも困難と考えられます。しかしながら、基準数量に対して実績数が大幅に低いことから、今後とも購入に当たっては、ムリ・ムダ・ムラを排し、工夫、精査及び学校間などの調整をお願いしたいと思います。</p> <p>○ 整備状況が60%前後にも関わらず、1校あたりの事業費が少額であり、整備の目標がわかりにくい。年次計画を立て、早期の充実を図ることを検討する必要があります。</p> <p>○ 小中併せて年間106万円は少ないと思われる。各校に対して設備備品調査を実施しているようだが、理科の備品は特</p>												

	<p>に高価であり、単なる均等割では整備が難しい。各校の充足状況と予算要望を十分考慮し購入計画を立て実施してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各校の現有数と購入計画が示してあれば60%の整備状況でも妥当であるか判断できるし、展望に立つこともできる。 ○ 毎年の購入予算と基準数量を基に、各学校の備品の把握をしながら購入計画をしていただきたい。
--	--

<p>教育委員会の考え方 (今後の取組)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 理科教育における実験、観察等の体験は、科学的能力の学習に必要不可欠なものであり、その学習環境の整備は大変重要である。 ○ 本町の小中学校理科備品の整備状況を見ると必ずしも十分とは言えないことから、国庫補助金等の助成も活用しながら、必要備品の整備に努めていく。
------------------------------	--

平成 27 年度教育委員会事務点検評価シート（平成 26 年度事業対象）

《基本方針》

- ◆魅力ある学校づくりを進めるとともに、児童・生徒の「生きる力」の育成を推進します。
- ◆児童・生徒が安全に安心して学校生活を過ごせるよう、教育環境・学校施設の整備と充実を推進します。

1 学校教育の推進	(3)教育の機会均等の確保と個に応じた教育の推進
事業名	②特別支援教育支援員派遣事業(款 9・項 1・目 3)
主管課	教育総務課・指導室
事業の目的	通常の学級において、発達障害など特別な支援を必要とする児童生徒の学校生活や、学習面での支援を行うため、特別支援教育支援員を小中学校に派遣する。
平成 26 年度の実績	<p>◆特別支援教育支援員の派遣経費 8,615,439円</p> <p>1 小学校(各校1人、1日6時間、週4日) 5,792,591円 H26 勤務平均日数 157日/校</p> <p>2 中学校(各校1人、1日6時間、週4日) 2,822,848円 H26 勤務平均日数 151日/校</p> <p>【平成25年度事業】 8,652,246 円 【平成24年度事業】 8,712,607 円</p>
成果と課題	<p>○ 成果としては、通常の学級において、発達障害など特別な支援を必要とする児童生徒の学校生活を支援することができている。</p> <p>○ 課題としては、週5日間の学校生活において、派遣日数が4日間であり、支援が十分とはいえない。また、特別な支援を必要とする生徒は増加する傾向にあり、各校1名で対応が困難な状況が見られる。</p>

点検評価委員の意見	<p>○ 特別な支援を必要とする児童生徒が円滑な学校生活を送るために必要な事業と考えられます。なお、今後においては、過密にならないよう各校配属の支援員の1日のスケジュールを工夫するなど、対象者数に応じて必要な支援員を適切に配置し、教育の機会均等の確保と保護者の期待に応えていただきたいと思います。</p> <p>○ 必要な事業であり、今後も継続願いたい。本支援員が有効に機能するために、教育相談コーディネーターの役割がますます重要になってきます。</p> <p>○ 今の学校では、障害の種別や軽重などが複雑に絡み、通常級でもLD（学習障害）等で特別に支援を必要とする児童生徒がいたり、インクルーシブ的発想からこの事業は更に手厚くしていく必要が出てくると思われる。</p>
-----------	---

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学校でも独自で学習支援ボランティアを雇用し支援活動をしているが、学校と連携を密にし補完しあい、さらなる効果を期待する。 ○ ふれあいサポーターの活躍は学校にはなくてはならなくなっております。今後インクルーシブル教育の普及により支援員の更なる質の向上と充実を期待します。
<p>教育委員会の考え方 (今後の取組)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小中学校において、学校生活や学習面で特別な支援を必要とする児童生徒を支援するためのふれあいサポーターは、円滑な教育活動を進めていく上で欠かすことのできないものである。 ○ 現在、原則週5日の登校日に対して、週4日の派遣となっていることから、派遣日数の増加に努めていく。

平成 27 年度教育委員会事務点検評価シート（平成 26 年度事業対象）

《基本方針》

- ◆魅力ある学校づくりを進めるとともに、児童・生徒の「生きる力」の育成を推進します。
- ◆児童・生徒が安全に安心して学校生活を過ごせるよう、教育環境・学校施設の整備と充実を推進します。

1 学校教育の推進	(3)教育の機会均等の確保と個に応じた教育の推進
事業名	⑤私立幼稚園就園奨励補助事業(款 9・項 1・目 2)
主管課	教育総務課
事業の目的	私立幼稚園に就園するにあたり必要となる保育料の一部を補助するもののほか、教材や保健安全に係る費用の一部を補助することにより、私立幼稚園に就園する園児の保護者の経済的負担を軽減することを目的とする。
平成 26 年度の実績	<p>私立幼稚園就園奨励費補助金(国庫補助分) 470 人 68,386,900 円</p> <p>私立幼稚園就園奨励費補助金(町単独分) 262 人 3,393,000 円</p> <p>私立幼稚園就園奨励費事務費補助金 4 園 319,997 円</p> <p>私立幼稚園教材費補助金 4 園 1,074,000 円</p> <p>私立幼稚園園児尿・ぎょう虫卵検査補助金 4 園 173,236 円</p> <p>私立幼稚園特別支援教育費補助金 1 園 360,000 円</p> <p>(合 計) 73,707,133 円</p> <p>【平成 25 年度事業費】 67,685,302 円 【平成 24 年度事業費】 62,211,868 円</p>
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国的に子育て支援策を講じている昨今において、経済状況の低迷が続く中、経済的に困難な状況にある幼児の保護者にとっては、一定の役割が果たされているものと考えている。 ○ 平成27年度から子ども子育て新制度が開始され、さらなる学校教育や保育の連携や拡充などが求められている。 (27 年度より幼稚園に関する事業を民生部子育て支援課へ移管)

点検評価委員の意見	<ul style="list-style-type: none"> ○ この事業については、子ども子育て支援新制度が開始され、子育て支援は国、地方自治体の主要な施策として掲げられており、保護者の経済的負担の軽減を図ることが期待されていますので、今後においても制度の充実を望みます。 ○ 私立幼稚園就園児の保護者の負担軽減のため必要な措置です。なお、該当 4 園以外の私立幼稚園等の就園児についても本補助が受けられるよう配慮すべきと考えます。 ○ 平成 27 年度から民生部に事務移管とのことですが、子ども子育て支援新制度を実施している幼稚園は、現時点ではないと聞いている。特別支援教育費補助金のように、新制度実施の幼稚園に補助金を出すよう検討を望む（民生部に引き継ぎ
-----------	---

	<p>事項として働きかけを要望する)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 事業費が毎年増加されていることに懸念を感じます。
<p>教育委員会の考え方 (今後の取組)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 少子化が進む現状にあつて、子育て支援は本町だけでなく国の主要施策であり、子育て中の保護者への支援の充実は必要不可欠なものである。 ○ 私立幼稚園就園奨励補助事業は、国庫補助金の活用により、大きな役割を果たしており、引き続き、その充実に努めていく(平成27年度から民生部子育て支援課に事務移管)。

平成 27 年度教育委員会事務点検評価シート（平成 26 年度事業対象）

《基本方針》

- ◆魅力ある学校づくりを進めるとともに、児童・生徒の「生きる力」の育成を推進します。
- ◆児童・生徒が安全に安心して学校生活を過ごせるよう、教育環境・学校施設の整備と充実を推進します。

1 学校教育の推進	(4)教育課題の開発・研究
事業名	②スクールカウンセラー派遣事業(款 9・項 1・目 4)
主管課	教育総務課・教育開発センター
事業の目的	学校におけるいじめや不登校等の生徒の問題行動等の対応にあたり、臨床心理に関して高度に専門的な知識・経験を有するカウンセラーを派遣し、生徒の問題行動等の解決、及び臨床教育学を生かした教育活動の展開に資する。
平成 26 年度の実績	<p>1 町派遣分 各中学校に1回8時間、各校6回を派遣した。 ・平成26年度事業費 767,754円 (スクールカウンセラー経費 736,956円、その他経費 30,798円)</p> <p>※県派遣分 町派遣分に加え、原則として各中学校に1回7時間、各校35回派遣した。 なお、平成26年度は、重点配置校として愛川中学校に70回の派遣をした。</p> <p>【平成25年度事業費】 674,988円 【平成24年度事業費】 749,607円</p>
成果と課題	<p>○ 県派遣のスクールカウンセラーを町派遣分と合わせることで、年間を通して相談活動等ができるようになっている。</p> <p>○ 中学校に派遣されるスクールカウンセラーの勤務から小学校の相談等も対応しているため、必要な時間が確保できない現状がある。</p>

点検評価委員の意見	<p>○ いじめ・不登校などの問題や課題のある児童生徒に対して、高度な専門的知識を有するカウンセラーの派遣は、いじめ・不登校のほか学習進路等についても早期相談による問題解決に大きな役割を果たしていると思います。今後においても、児童生徒の心の問題に寄り添い、小中学校との連携を図りながら、制度の拡充による事業展開をしてほしいと思います。</p> <p>○ 児童生徒の多種多様な悩みの相談に当たっている様子が見え、また教職員等への講習会の講師も務めるなど、有効に機能しています。必要性に応じて町単独の配置をしている</p>
-----------	---

	<p>ことも適切です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 心のケア、いじめ対策等でスクールカウンセラーの配置は欠かすことができない。従来の相談活動業務は当然であるが、さらに校内研修等で講師を務めて専門性を生かすなど幅広い活動を望む。 ○ スクールカウンセラーの派遣は子どもたちや保護者・教職員にとって重要だと思われます。また、スクールカウンセラーを知らない保護者なども多数います。利用方法を含めた告知などの工夫をして利用しやすい環境をしていただきたい。
--	--

<p>教育委員会の考え方 (今後の取組)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校における教育相談や指導等は、教職員の重要な職務であるが、高度な専門的知識と経験をもったスクールカウンセラー（臨床心理士）の派遣により、充実が図られている。 ○ 本町の実績においても、カウンセリングにより不登校児童生徒の多くが改善傾向にあることから、引き続き、学校のニーズにあった事業の充実努める。
------------------------------	---

平成 27 年度教育委員会事務点検評価シート（平成 26 年度事業対象）

《基本方針》

- ◆魅力ある学校づくりを進めるとともに、児童・生徒の「生きる力」の育成を推進します。
- ◆児童・生徒が安全に安心して学校生活を過ごせるよう、教育環境・学校施設の整備と充実を推進します。

1 学校教育の推進	(4)教育課題の開発・研究
事業名	⑤キャリア教育推進事業(款 9・項 1・目 4)
主管課	教育総務課・教育開発センター
事業の目的	中学校2年生を対象に、町内の事業所等での3日間の職場体験を通じて、自己の生き方を考え、また、そのために必要とされる力を育む事業を行うもの。
平成 26 年度の実績	<p>◆中学生職場体験事業</p> <p>期 日 平成27年1月21日(水)～1月23日(金)</p> <p>参加者 409人</p> <p>事業費 210,190円 (印刷費 30,000円、保険料 175,870円)</p> <p>協力事業所 130事業所</p> <p>【平成25年度事業】 219,200円 【平成24年度事業】 213,180円</p>
成果と課題	<p>○ 町内の中学2年生が、各事業所において職場体験を実施することによって、生徒は進路について具体的な考えが深まり、保護者からも良い評価をいただいた。また、受け入れ事業所からも地域の子どもを地域で育てることに対して良い評価をいただいた。</p> <p>○ 事業所によっては、身体検査等が必要な職種がある点や、事業所から生徒自宅までの距離によっては交通費の負担が生じてしまう点が今後の課題である。</p>
点検評価委員の意見	<p>○ 中学2年生を対象とした本事業は、生徒、保護者、事業所から良い評価を受けており、今後も事業の継続を望みます。なお、アンケート結果から、職業や仕事に対する保護者と生徒の期待感や認識の違いがあることが気になります。また、事業を充実させるため、リタイアした地域の職人さんなどの人材を活用するなど、新たなキャリア教育の展開を図ることも必要かと思えます。</p> <p>○ 生徒にとっては、貴重な経験となっていることがうかがえ、保護者や受け入れ事業所等からもよい評価を得ており適切です。</p> <p>○ 以前の職場体験は一週間行っていましたが、教育課程の改訂や受け入れ先の事情で3日間に短縮されたと伺っていま</p>

	<p>す。キャリア教育は小学校で「あり方」、中学校では「生き方」そして自己実現と課程があり、指導の一貫性が求められています。日数の短縮などの諸事情もあると思いますが、全町の中学校2年生が同時期に一斉に実施しているところが愛川の教育の特色の1つであり、今後も継続をお願いしたい。</p> <p>○ 子どもたちにとってかけがえのない経験をする事業だと思います。事業所との協力を図りながら継続して頂きたい。</p>
<p>教育委員会の考え方 (今後の取組)</p>	<p>○ 町内の企業等の協力を得て実施しているキャリア教育は、中学2年生が今後の進路や生き方などを考える上でかけがえのない機会となっている。</p> <p>○ 参加生徒、保護者、事業所などの意見の集約に努め、さらなる充実を図っていく。</p>

平成 27 年度教育委員会事務点検評価シート（平成 26 年度事業対象）

《基本方針》

- ◆魅力ある学校づくりを進めるとともに、児童・生徒の「生きる力」の育成を推進します。
- ◆児童・生徒が安全に安心して学校生活を過ごせるよう、教育環境・学校施設の整備と充実を推進します。

1 学校教育の推進	(5)安全・安心の学校づくり、学校環境づくり
事業名	②小学校給食運営事業(款 9・項 2・目 2)
主管課	教育総務課
事業の目的	児童の心身の健全な発達に資するため学校給食法に基づき、栄養を考慮した安全で安心な給食を安定的に提供する。
平成 26 年度の実績	<p>平成26年9月から、菅原小学校の給食調理業務を町直営方式から民間事業者への委託方式に切り替え、町内6校全ての小学校給食の調理業務が民間委託による運営となった。</p> <p>1 小学校給食一般管理費 (決算額:4,320,012 円) 2 小学校給食調理業務委託費 (決算額:77,994,360 円) 3 小学校給食施設維持管理費 (決算額:9,730,169 円) 計(1~3) 92,044,541 円</p> <p>◆給食調理業務委託:調理・配缶・指定場所への運搬・食器具等の洗浄等・保管・学校給食全般に係る業務 ◆放射性物質濃度検査、食材検査実施</p> <p>【平成 25 年度事業費】 81,410,408 円 【平成 24 年度事業費】 77,944,181 円</p>
成果と課題	<p>○ 自校方式による給食運営の実施において安全でおいしい学校給食を提供し、児童・保護者からも高い評価がされている。</p> <p>○ 食物アレルギーのある児童の学校給食対応や異物混入事故防止など学校給食の安全管理は、重要な課題であると考えている。</p>

点検評価委員の意見	<p>○ 本町の小学校給食は、全て民間事業所への委託による自校方式で行うことについては、保護者の理解や教職員の協力の賜であり、行政改革の一つの成果として評価できると思います。今後においても危機管理、リスク管理に努められ、経費の削減だけでなく、栄養にも配慮した安全で安心な給食を安定的に提供されることを望みます。</p> <p>○ 直営から業務委託と調理業務は変わったが、今後とも衛生管理を徹底するとともに、安全でおいしい給食の提供に努めてもらいたい。</p> <p>○ 給食運営事業で大事なのは衛生的で、美味しい給食を提供することである。従来から自校方式を実施している町の給食は、スープのさめない美味しい給食と言われ他からも評価を</p>
-----------	---

	<p>得ている。予算や就労関係から6校全てが委託方式になったようであるが、調理や衛生管理に十分注意し業務遂行するよう指導性の発揮を望む。特に、異物混入、食のアレルギー等の問題は素早く全校へ周知徹底する危機管理体制の組織化が急務と思う。</p> <p>○ 給食の安全・安心を心がけ継続していただきたい。</p>
<p>教育委員会の考え方 (今後の取組)</p>	<p>○ 町内小学校給食の調理業務は、平成26年度をもって、全て民間委託となったが、学校栄養士、委託業者の努力により、安全でおいしい給食が提供されている。</p> <p>○ 引き続き、アレルギーへの個別対応や異物混入防止対策等の安全管理に万全を期していく。</p>

平成 27 年度教育委員会事務点検評価シート（平成 26 年度事業対象）

《基本方針》

- ◆魅力ある学校づくりを進めるとともに、児童・生徒の「生きる力」の育成を推進します。
- ◆児童・生徒が安全に安心して学校生活を過ごせるよう、教育環境・学校施設の整備と充実を推進します。

1 学校教育の推進	(5)安全・安心の学校づくり、学校環境づくり		
事業名	⑤学校施設維持管理事業 〔款 9・項 2・目 1（小学校費）、款 9・項 3・目 1（中学校費）〕		
主管課	教育総務課		
事業の目的	小中学校の施設・設備の点検整備を実施し、施設の維持管理を図る。		
平成 26 年度の実績	健全な学校運営を図るため、適切な校舎等の燃料・光熱水の管理に努め、また施設維持のための各種点検業務を実施するとともに、老朽化の進む校舎等の維持補修修繕を実施した。また、夏の暑さ対策として、普通教室及び特別教室へ設置の扇風機のリースを行った。 (単位:円)		
	項目	小学校費	中学校費
	燃料・光熱水費	30,936,426	15,537,016
	建物設備等修繕料	4,270,801	1,812,563
	維持管理委託料	9,041,127	5,252,109
	扇風機賃借料	4,337,496	2,941,524
	その他	3,212,225	1,170,254
	(合計)	51,798,075	26,713,466
	【平成25年度・24年度の実績】		
	(1)平成25年度		
項目	小学校費	中学校費	
燃料・光熱水費	35,676,374	15,636,748	
建物設備等修繕料	3,897,025	2,129,004	
維持管理委託料	9,017,558	5,087,596	
扇風機賃借料	4,337,496	2,941,524	
その他	3,205,388	1,238,719	
(合計)	56,133,841	27,033,591	
(2)平成24年度			
項目	小学校費	中学校費	
燃料・光熱水費	35,882,914	16,133,811	
建物設備等修繕料	4,684,538	4,481,099	
維持管理委託料	9,173,305	5,182,274	
扇風機賃借料	4,337,496	2,941,524	
その他	3,272,568	1,241,619	
(合計)	57,350,821	29,980,327	

<p>成 果 と 課 題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 校舎等は建築から40年を越える建物が多く、老朽化が顕著であるが、学校との連携強化により、適切な点検・整備が実施され、維持管理に努めることができた。 ○ 近年は、地中や躯体に埋設された水道管等が老朽化により破損するケースが多く、目視では分からないことから対応に苦慮しているところである。 ○ 校庭等の樹木の成長が著しいが、同時に老木も目立ち、巨木からの落ち葉や枯れ枝の管理に苦慮しているところである。
------------------	---

<p>点検評価委員の意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 施設の老朽化や経年劣化に伴い修繕等が増加することになりますが、燃料・光熱水費を始め、全体的に経費の圧縮傾向にあることは評価できます。ただし、修繕は計画的に実施すべきであり、計画年度によっては突出してしまうことはやむを得ないと考えますが、今後も安全安心を目標に、日常的な維持管理・補修等に努めていただき、教育環境の充実を図ってほしいと思います。 ○ 校舎の維持管理は最も基本的なことです。今後も補修・修繕等、適切に対応願いたい。なお、学校を他の公共施設と比較すると、住環境として不十分なところが多々見られます。清掃業務委託の回数増や洋式トイレの配置など、他の公共施設並みの対応や整備が望まれます。また、扇風機の導入の効果は認めますが、近年の残暑は児童生徒にも過酷です。普通教室へのエアコンの導入の検討を急ぐべきと考えます。 ○ 過日、都立高校においてプール水の流失で100万円を超える浪費のニュースがあった。人為的ミスが原因のようだが、どこでも起こりうる問題と思う。ましては施設の老朽化は頭を悩ます問題である。学校との連携強化により点検・整備が良くなされ維持管理に効果を得ているようですが、さらに学校の施設開放に関わる利用団体への一層の働きかけや使用調査等をして実態と経費削減の協力依頼など幅広い取組みが可能かと思う。 ○ 各学校施設は老朽化に伴い様々な改修・補修が余儀なくされると思います。計画的な補修と大規模改修をお願いしたい。
------------------	--

<p>教育委員会の考え方 (今後の取組)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 町内小中学校の校舎等は建築から40年を越える建物が多く老朽化が顕著であるが、適切な維持管理が図られている。 ○ 引き続き、計画的な維持補修や光熱水費の抑制に努めていく。
------------------------------	---

平成 27 年度教育委員会事務点検評価シート（平成 26 年度事業対象）

《基本方針》

- ◆ 多様な学習機会を創出し、学習活動に必要な施設の充実や人材の育成と確保により地域に根ざした生涯学習を推進します。

2 生涯学習の推進		(1)生涯学習の推進
事業名	②男女共同参画推進事業(款 9・項 4・目 1)	
主管課	生涯学習課	
事業の目的	男女が互いに人権と個性を尊重し、共に豊かに生きていくことができる社会を目指し、男女共同参画の推進を図る。	
平成 26 年度の実績	<p>◆男女共同参画社会推進事業費（決算額:180,634 円）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 愛川町男女共同参画基本計画推進委員会委員報酬 2. 男女共同参画社会推進事業講師謝金 講演会（参加者 32 名）を実施 日時:平成 27 年 1 月 24 日(土)13:30～15:30 3. 消耗品代 <p>【平成 25 年度事業費】 153,050 円 【平成 24 年度事業費】 166,980 円</p>	
成果と課題	<p>○ 男女共同参画推進講演会では、町 PTA 連絡協議会にも参加を依頼したことにより、多くの方の参加があった。参加された方は男女共同参画への意識も高く、理解促進につながったものとする。</p> <p>○ 男女共同参画社会を推進するために、より多くの方に講演を聞き、意識を高めていただくことが必要であり、そのための周知の仕方が今後の課題であるとする。</p>	
点検評価委員の意見	<p>○ 本事業については、「男女雇用機会均等法」や「男女共同参画推進計画」の制定等の取組みにより、社会や男女の意識の変化を的確に捉えつつ、男女共同参画社会の実現に向けた事業を推進していると認識しています。この目的に向かっては、年 1 回の講演会では不十分であり、PTA 等との連携や企業・官公庁との合同セミナーを開催するなど、講演会方式のあり方を含め推進方法を検討し、さらに広報活動等も工夫・強化してほしいとします。</p> <p>○ 意識啓発を図るための努力や工夫がうかがえます。単独で行うよりも、他の事業やイベントの場を借りるなどして、幅広く啓発活動を進める必要があります。なお、本事業の推進は町全体ですべき内容と思います。</p> <p>○ 男女共同参画の意義や必要性は理解されているが具体的な推進事業となると難しいと思います。啓発活動としての講演会が主であるのに PR 不足と感じます。推進委員に報酬があ</p>	

	<p>るようだが、委員が推進事業に関わり事業の幅を膨らませる施策を見いだして欲しいと思います。</p> <p>○ 平成 26 年度の実績は講演会がメインですが、講演会以外の活動内容が記されていなかった。また、課題とされた周知の仕方について、活動内容を充実していただきたい。</p>
<p>教育委員会の考え方 (今後の取組)</p>	<p>○ 教育委員会所管における事業内容としては、地道な取り組みを継続的に進めていかざるを得ないが、男女共同参画の理念を念頭に、先進自治体の取組みも参考にしながら、さらに事業の充実に努めていく。</p>

平成 27 年度教育委員会事務点検評価シート（平成 26 年度事業対象）

《基本方針》

- ◆ 多様な学習機会を創出し、学習活動に必要な施設の充実や人材の育成と確保により地域に根ざした生涯学習を推進します。

2 生涯学習の推進		(1)生涯学習の推進
事業名	⑤中津公民館運営事業(款 9・項 4・目 4)	
主管課	生涯学習課	
事業の目的	開かれた公民館として運営に努めるとともに、生涯学習に関わる各種教室・講座の開催など自主事業を積極的に推進し、町民の生涯学習機会の充実に努めます。	
平成 26 年度の実績	<p>◆中津公民館運営事業費（決算額:304,827 円）</p> <p>年間を通して教養講座・趣味の講座・健康学習講座等の各種教室・講座を開催するとともに、中津公民館の利用団体が日頃の活動成果を発表する場として、中津公民館まつりを開催した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 各種教室・講座の開催 (延べ事業開催数：18 事業、延べ参加者数：301 名) 2. 中津公民館まつりの開催 (開催期間：平成 26 年 11 月 26 日～30 日、延べ来館者数：1,143 人) <p>【平成 25 年度事業費】 302,193 円 【平成 24 年度事業費】 359,053 円</p>	
成果と課題	<p>○ 中津公民館利用者の平均年齢が、年々高くなっている傾向にあることも考慮しつつ、その時のトレンド、ニーズにあった各種教室・講座等を実施した。</p> <p>○ 若年層も含めた幅広い年齢層の方に利用していただけるよう、公民館運営事業の調査・研究が今後の課題であると考える。</p>	
点検評価委員の意見	<p>○ 公民館活動の抜本的な見直しと言われるようになってから久しくなりますが、その方向性が定まっていないのが現状です。昨年の半原公民館運営事業でも、利用者の高齢化や幅広い年齢層の参加が課題となっており、早急に検討する必要があります。例えば講座にしても公民館間での調整による活性化や、参加しやすい曜日や時間帯に拡大するなどの工夫も必要と思われます。また、利用者等を対象とした運営委員会を設置し、利用者の意見を反映させるなどして利用しやすい公民館となるよう期待します。</p> <p>○ 多種多様な講座が提供されていること、また公民館祭りにも多くの来館者で盛況であり、本館が生涯学習の拠点として機能していることがうかがえます。若年層に加え男性の参加を増やす工夫も必要です。</p>	

	<ul style="list-style-type: none"> ○ ニーズにあった事業が実施され、参加者もそれなりにあり成果を上げていると思われます。参加者に女性が多いことや年配者に偏っていることは致し方ないが、今後も工夫・改善をお願いしたい。 ○ 事業目的にある、自主事業の推進・拡大に期待します。
--	---

<p>教育委員会の考え方 (今後の取組)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 町の生涯学習の拠点として各種教室や講座をはじめ、利用団体の活動成果の発表の場である公民館まつり等が開催されており、引き続きその充実に努めていく。 ○ 今後は、参加者層の拡大に向けて、若年層なども参加しやすい講座や期日の検討に努める。
------------------------------	---

平成 27 年度教育委員会事務点検評価シート（平成 26 年度事業対象）

《基本方針》

- ◆ 家庭・地域・学校の連携を強化し、家庭教育の支援や地域の教育力の向上、青少年の健全育成を推進します。

3 家庭教育の推進・青少年健全育成の推進	(2) 青少年健全育成の推進
事業名	① 青少年健全育成事業(款 9・項 4・目 2)
主管課	生涯学習課
事業の目的	青少年の健全育成を推進するために、青少年県外交流事業等を実施するとともに、青少年関係団体の運営事業に助成を行い、町の青少年の健全育成に努める。
平成 26 年度の実績	<p>◆青少年健全育成事業（決算額:1,111,256 円）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 子ども議会開催経費 2 町青少年県外交流事業補助金 平成 26 年度参加者数(愛川町 27 名、立科町 10 名) 3 住民提案型協働事業負担金 「愛川町子どもの読書を推進する会啓発資料作成班」との協働でブックガイドを作成 4 ボーイスカウト育成補助金 ボーイスカウト愛川1団へ補助 5 町地区健全育成組織連絡協議会補助金 町内 4 地区へ補助、育成大会発表団体への謝金等 (育成大会参加者 79 名) 6 読書・読み聞かせ活動事業補助金 読書・読み聞かせボランティア 8 団体へ補助 <p>【平成 25 年度事業費】 879,000 円 【平成 24 年度事業費】 915,404 円</p>
成果と課題	<p>○ 青少年の健全育成に向けた各事業を、実施計画に基づいて活発に推進することができた。また、ブックガイドの啓発により、良書に親しむ環境づくりに努めることができた。</p> <p>○ 団体の育成に関しては、青少年を指導する育成者の意識を変えていく必要もあると感じられる。各団体がより活発な事業を展開できるよう、会議での意見交換を充実させるなど、適切な指導・助言をしていきたいと考える。</p>
点検評価委員の意見	<p>○ この事業は、次代を担う青少年の健やかな成長を図ることを目的としたものですが、今後においては参加者の拡大を図り、マンネリ化しないようさらに周知・広報活動等の充実を図る必要があると考えます。また、住民提案型協働事業による「ブックガイド」を様々な機会に活用していただきたいと思います。</p> <p>○ ブックガイドは、読み聞かせなど読書活動に長年携わった経験や知識が生かされ、優れた内容のものと推察されます。今後の積極的で有効な活用が期待されます。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ○ ブックガイドの作成に係る支出は、事業が分かれず、まとまっていたほうがわかりやすい。 ○ 青少年育成団体のマンネリ化や団体に所属する負担も聴いたりします。青少年に携わる関連団体と連携を図りながら活性化するような企画や交流をしていただきたい。
<p>教育委員会の考え方 (今後の取組)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 町の将来を担う青少年の健全育成は、青少年関係団体を中心に様々な事業が行われており、成果も挙がっていると認められるが、今後は時代の変化も踏まえた事業となるよう検討する。 ○ ブックガイドは、町の住民提案型協働事業により作成されたが、読書活動に長年携わった経験と知識が存分に活かされており、学校、地域において更なる有効活用を図っていく。

平成 27 年度教育委員会事務点検評価シート（平成 26 年度事業対象）

《基本方針》

- ◆ 家庭・地域・学校の連携を強化し、家庭教育の支援や地域の教育力の向上、青少年の健全育成を推進します。

3 家庭教育の推進・青少年健全育成の推進	(2) 青少年健全育成の推進
事業名	④ 子ども会育成事業(款 9・項 4・目 2)
主管課	生涯学習課
事業の目的	愛川町子ども会連絡協議会、単位子ども会の活動支援を行い、子どもたちの健全な育成を町全体・地域で図るもの。また、「ふれあいレクリエーション事業」では、子どもたちと年配の方々や地域の方々との交流を図り、地域の活性化を促すことに努めていく。
平成 26 年度の実績	<p>◆ 子ども会育成事業（決算額:791,185 円）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 子ども会関係事業消耗品 2 子ども 110 番の家災害補償保険料 平成26年4月1日現在登録数 664 件 3 ふれあいレクリエーション事業委託料 町内6小学校において 11 月第 2 土曜日に実施 (平成 26 年度参加者数 2,327 名) 4 町子ども会連絡協議会運営費補助金 〈主な用途〉・町内6小学校区へ地区連絡会運営補助金 ・バス研修費(バス研修参加者 81 名) <p>【平成 25 年度事業費】 1,160,743 円 【平成 24 年度事業費】 558,778 円</p>
成果と課題	<p>○ 平成11年度から、愛子連を中心に各地域の団体の協力のもと、現行の「ふれあいレクリエーション」を実施しており、参加者も多く、子どもたちにも好評である。</p> <p>○ バス研修を開始して3年が経過したが、毎年応募多数で研修会を通して交流も図ることができている。一方、バス研修のような参加者が限定される催し以外にも、多くの子どもたちが参加できる催しを企画して、愛川町の子ども会の活性化を図れるよう、支援していきたいと考える。</p>
点検評価委員の意見	<p>○ 行政区の子ども数と子ども会加入者に相当の乖離があり、加入率にバラつきがあります。今後、加入者の増加を図るため、加入率の高い地区との交流や研究会を開催するなど、次世代育成のための活動が展開できるよう工夫を望みます。</p> <p>○ 地域の子どもの地域で見守り育成するという視点からも、子ども会の果たす役割は大きいものがあります。子供の減少への対応や役員のなり手など、子ども会の抱える課題を分析するとともに、工夫・改善に取り組んでいる例を敷衍（ふえん）するなど、今後の在り方の検討を急ぐべきです。</p> <p>○ 児童数が減少している中で、単位子ども会の存在や愛子連未加入など子ども会のあり方が問われて何年も経過しいて</p>

	<p>る。今後は単体の子ども会と言うより「ふれあいレクリエーション」の様に小学校単位での実施や、PTA・育成会との連携を保ち結合の方向を探る事も方法の一つと考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市町村によって様々であるが発足当時から「こども110番」のプレートがわかりやすく、抑止効果を上げている。青少年指導員によって調査され継続されている事に敬意を表する。 ○ 団体の会員の減少や役員不足については継続課題だと感じております。事業の特性を最大限に発揮して子どもたちの為の活動になり保護者のメリットにもなるような新規の活動を行っていただきたい。また、子ども110番の活動についても地域でわかりやすく周知すれば新規の登録にも理解が得られるのではと思います。
<p>教育委員会の考え方 (今後の取組)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 少子化の進展により、子ども会への加入のみならず、子ども会の存続が難しい地域が増えている状況にある。 ○ 子ども会育成事業の「ふれあいレクリエーション」や「子ども110番」等は、地域と密接した事業でもあることから、その意義を周知して、地域における事業展開に努めていく。

平成 27 年度教育委員会事務点検評価シート（平成 26 年度事業対象）

《基本方針》

- ◆ 家庭・地域・学校の連携を強化し、家庭教育の支援や地域の教育力の向上、青少年の健全育成を推進します。

3 家庭教育の推進・青少年健全育成の推進		(2) 青少年健全育成の推進
事業名	⑦ かわせみ広場事業(款 9・項 4・目 2)	
主管課	生涯学習課	
事業の目的	児童館・地域公民館等を使用し、放課後の時間に遊びを通じて地域における異年齢児童間の交流を促進し、児童の健全育成を図る。	
平成 26 年度の実績	<p>◆かわせみ広場事業（決算額:14,549,201 円）</p> <p>町内 14 行政区の児童館・公民館において、児童が安心して活動できる場を確保している。</p> <p>開館は月曜日から金曜日の午後3時から午後5時まで(時期によって変動する場合あり)とし、指導員を1～2名配置して児童の健全育成に努めたところである。</p> <p>○かわせみ広場実施施設数:14 施設 ○指導員数:42 人 ○延べ開館日数:3,080 日 ○利用者総数:24,105 人</p> <p>【平成 25 年度事業費】 13,974,263 円 【平成 24 年度事業費】 14,433,611 円</p>	
成果と課題	<p>○ 利用者数は、全体で見るとH24年度 26,281 人、H25年度 26,053 人、H26年度 24,105 人と推移している。それぞれの施設が工夫し、子どもたちの実情に沿った運営がなされており、利用者への適切な見守りができているものと思われる。</p> <p>○ 施設によって利用者数に差が大きく、現在、利用者の少ない3施設(小沢、川北、大塚)の運営方法等の見直しが課題である。</p> <p>○ 今後、国で進める放課後児童クラブとの一体化についても検討を進める必要があると考える。</p>	
点検評価委員の意見	<p>○ 核家族、少子化の中で、放課後に子ども達が安全に過ごせるよう町内 14 行政区に広場を開設し、効果をあげていると思います。今後は利用者の少ない施設の実態把握に努め、閉鎖も含めて検討するとともに、放課後児童クラブとの連携により、今後の方向性や位置付けを定めていく必要があります。なお、指導員の資質の向上・人材の育成・確保などの積極的な取組み、各施設での運営の充実を図っていくことも望みます。</p> <p>○ 放課後の児童の居場所として有効に機能しています。設置場所によって利用者数の差があるようですが、児童の利用しやすさを優先している結果でもあると思われます。</p> <p>○ 平成 23 年度から 14 行政区に縮小したと記憶しているが更に利用が少ない 3 地区が検討課題のようである。施設の場所</p>	

	<p>の利便性や地域によって利用度が変わるのは当然である。学童保育との一体化の検討も始まるようだが、地域に合った形に変えていくべきである。全町一律的でなく地域のニーズにあった形やお年寄りを含めた交流広場的事業に変えたらと思う。</p> <p>○ 近年、子どもたちの「居場所」に目を配る必要性が大きくなっていることから、かわせみ広場は子どもたちの憩いの場として大きな役割を果たしていると思います。</p>
--	---

<p>教育委員会の考え方 (今後の取組)</p>	<p>○ 昨今の児童を巡る全国的な事件、事故を考慮すると、放課後児童の安全な居場所が確保できることは、有効性が認められる。学校区の地域性などにより、そのニーズの大小はあるが、引き続き事業の充実に努めていく。</p> <p>○ 今後は、国で進める放課後児童クラブと放課後子供教室（かわせみ広場）の連携を研究していく。</p>
------------------------------	---

平成 27 年度教育委員会事務点検評価シート（平成 26 年度事業対象）

《基本方針》

◆ 「町民みなスポーツの町」宣言の趣旨に基づき、スポーツ振興・普及を推進します。

4	スポーツ・レクリエーションの推進	(1) コミュニティスポーツの推進
事業名	②町体育協会等補助事業（款 9・項 5・目 1）	
主管課	スポーツ・文化振興課	
事業の目的	本町のスポーツ振興と町民の体力向上を図る体育協会と、スポーツ少年団の普及と促進及び活動の活性化を図るため、それぞれの団体の運営を支援する。	
平成 26 年度の実績	<p>◆町体育協会等補助金（決算額：2,531,000 円）</p> <p>1. 愛川町体育協会運営補助事業 2,341,000 円 （1）22 種目協会（会員数 3,589 名）</p> <p>2. 愛川町スポーツ少年団運営補助事業 190,000 円 （1）15 単位団（会員数 392 名）</p> <p>【平成 25 年度事業費】2,531,000 円 【平成 24 年度事業費】2,531,000 円</p>	
成果と課題	<p>○ 体育協会では、協会事業としてスポーツ指導者対象の「中高年のスポーツと健康管理」と題したセミナーを開催したところ、約 50 名の参加者があり、スポーツ活動だけでなく、日常生活をより潤いのあるものとする実践的なセミナーとなった。種目協会においても、町総合体育大会の実施や、各種大会への選手派遣、スポーツ教室を実施するなど、充実した活動内容が報告された。</p> <p>○ スポーツ少年団では、少年団交流事業として、ハイキングやミニ駅伝を実施し、競技別では県大会や全国大会等へ団員が出場する成果を収めた。</p> <p>○ 会員数が減少傾向にある団体があることが課題となっているが、今後も団体の主体的な活動を支援していきたい。</p>	
点検評価委員の意見	<p>○ 体育協会及びスポーツ少年団に加入している団体への補助については、各団体の経費の負担軽減に役立っているものと考えておりますが、同額補助や加盟団体の固定化などの課題もあります。町としては「町民みなスポーツの町」宣言に基づいて、ニュースポーツの紹介や健康な身体の維持・促進を図ってきました。体育協会等においても、スポーツを楽しみながら健康づくりに役立つようニーズに対応したスポーツ教室の充実を図り、スポーツ人口の増加に向けた事業の展開を期待します。</p> <p>○ 体育協会は、セミナーやスポーツ教室を開催するなど充実した活動がうかがえます。また、スポーツ少年団は、多くの</p>	

	<p>子どもたちが参加し技術の向上に励むなど、よい運動機会の提供の場となっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 体育協会に所属している団体にとって運営補助事業は大変助かっている。 ○ 「町民みなスポーツの町宣言」から四半世紀立っているが総括がなされていない。また、単なるお題目にすぎず町民に浸透していない感がある。町の施策として町民のあるべき姿や具体的な施策が全く見えない。体育協会の会議でも時折課題として意見も出ている。協会としての事業を例に考えると、広く町民を対象とした町民〇〇大会（総合体育大会と称せられる）や〇〇教室を企画している団体に対して優遇措置を講じ啓発に努めたり、協会事業のセミナーも「町民みなスポーツ」に位置づけて実施すれば意識化も増し、定着化していくと思われる。
--	---

<p>教育委員会の考え方 (今後の取組)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 町体育協会及び町スポーツ少年団は、指導者向けのセミナーやスポーツ教室、ミニ駅伝大会の開催を通して、町民のスポーツに対する意識向上や参加を促進しており、競技だけでなく生涯スポーツの進展に寄与していることから、引き続き活動を支援していく。 ○ 今後は、中学校の「運動部活動支援員」に対する関わり方についても研究していく。
------------------------------	---

平成 27 年度教育委員会事務点検評価シート（平成 26 年度事業対象）

《基本方針》

- ◆ 「町民みなスポーツの町」宣言の趣旨に基づき、スポーツ振興・普及を推進します。

4 スポーツ・レクリエーションの推進	(1)コミュニティースポーツの推進
事業名	⑤学校開放推進事業(款 9・項 5・目 1)
主管課	スポーツ・文化振興課
事業の目的	町の社会体育、その他の公共のために、町内小中学校の施設を、学校教育に支障のない範囲内で、登録団体に開放し、町民の施設利用に供する。
平成 26 年度の実績	<p>◆学校開放推進事業費（決算額:256,834 円）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 室内用エバーマット購入代(半原小) 146,880 円 2 夜間照明カギシリンダー修繕料(菅原小) 46,440 円 3 申請書印刷代 59,292 円 4 その他消耗品費等 4,222 円 5 体育館利用登録団体 51 団体(登録者数 1,143 名) <ol style="list-style-type: none"> (1)中学校利用回数 651 回(利用人数延べ 11,326 人) (2)小学校利用回数 3,071 回(利用人数延べ 88,401 人) 6 グラウンド登録団体 10 団体(登録者数 346 名) <ol style="list-style-type: none"> (1)中学校利用回数 46 回(利用人数延べ 940 人) (2)小学校利用回数 2,676 回(利用人数延べ 162,604 人) <p>【平成 25 年度事業費】 139,365 円 【平成 24 年度事業費】 360,680 円</p>
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小中学校との連携を図りながら、日ごろの施設点検を徹底し、利用者に不便をきたすことのないように利用者サービスに努めた。 ○ 登録団体へ、利用マナーの啓発を行った。 ○ 今後も学校教育に支障のない範囲内で事業に取り組みたい。
点検評価委員の意見	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本事業は、学校施設を開放し、身近な施設として利用者の利便性の向上に役立っていると思っています。今後、利用者・団体へのマナーの徹底を図り、公共施設利用の意識の向上に努めていただきたいと思います。 ○ 町施設が有効活用されており、また、利用者に不便をかけるよう配慮するなど適切です。 ○ 学校開放は社会体育に携わる団体に無くてはならない事業であると共に学校教育との連携の良し悪しが成果を決定するといっても過言ではない。今後も、施設・備品の整備は当事者の学校と体育協会等の購入希望を調整し、利用者のニーズに応えるよう努力をお願いしたい。

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 施設点検を充実し利用者に不便をきたすことがないことや利用者のマナーの啓発等成果として掲げられているが、見逃しやすい物に清掃用具等の消耗品の不備が挙げられる。施設設備の安全性は当然ですが、日常活動に周知している学校管理と連絡調整を十分行い予算化も必要と思われる。 ○ 学校開放について事故やトラブルの無いように励んでいただきたいです。
<p>教育委員会の考え方 (今後の取組)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ スポーツ団体等にとっては、身近で安価な学校施設の開放は有益な活用であり、生涯スポーツの振興にも寄与している。 ○ 今後も施設の適切な維持管理に努め、学校との連携を密にしながら、当事業の充実を図っていく。

平成 27 年度教育委員会事務点検評価シート（平成 26 年度事業対象）

《基本方針》

◆ 心豊かな社会としていくため、芸術・文化活動の振興と文化財保護を推進します。

5 文化の振興	(2)文化財保護の推進
事業名	① 文化財保護事業(款 9・項 4・目 5)
主管課	スポーツ・文化振興課
事業の目的	本町の貴重な文化財の保護体制の充実を図り、文化財の保存、調査を推進するとともに、文化財保護の啓発活動を合わせて推進する。
平成 26 年度の実績	<p>◆文化財保護事業費(決算額:1,346,245 円)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 文化財保護委員報酬 630,000 円(7名、任期2年) 2 埋蔵文化財調査謝金 60,000 円(6 日分) 3 埋蔵文化財試掘調査委託料 165,000 円(3 回分) 4 文化財案内板・木柱修繕料 68,040 円 (田代「首塚」、「勝楽寺のイトヒバ」、中津「太田善太夫の陣屋跡」) 5 文化財案内標柱(石柱)設置工事 205,200 円(半原「伊保坂」) 6 文化財案内板購入費 15,120 円(春日台「名桑『春日』と春日台」) 7 その他消耗品費等 202,885 円 <p>【平成 25 年度事業費】1,567,019 円 【平成 24 年度事業費】1,897,586 円</p>
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 年間3回の試掘調査をはじめ、日々の埋蔵文化財包蔵地内で予定されている土木工事にかかる届出書の受付と県への進達を行うなど、埋蔵文化財保護に努めた。 ○ また、春日台の地名の由来ともなった名桑「春日」を説明した文化財案内板を設置するとともに、既存の地名標柱の石柱化を進め、広く文化財の啓発活動に努めた。 ○ 引き続き、文化財保護委員の意見を伺いながら、文化財の保護体制の充実を図っていく。
点検評価委員の意見	<ul style="list-style-type: none"> ○ 町の財産である文化財の保護については、文化財保護委員会を中心に文化財保護の推進が図られ、新たな指定や廃止等がされておりますが、文化財に対する住民の認知度はまだまだ低いように感じられます。このことから、年2回程度の「文化財めぐり」や幅広い内容の講座を開催など、広報活動の工夫や強化・推進を図る必要があると思います。 ○ 文化財の保護と活用の手立てが計画的に進められていることがうかがえます。今後とも、地域の宝である文化財が広く町民の目にとまり、地域の理解や地域への愛着が深まり、地域の文化を大切にしようという気持ちの醸成につながるような取り組みの継続を願います。

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 時折、古く文字が良く読めない文化財案内板を見かけるが、案内板や道標等の状態確認に努め、計画的に修繕等を進めていく必要があると思う。
<p>教育委員会の考え方 (今後の取組)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 町の貴重な文化財を後世に残していくことは大変重要である。 ○ 引き続き文化財の適切な保護に努めるとともに、町民への啓発活動を行っていく。

愛川町教育委員会 教育長・教育委員名簿

(平成27年12月1日現在)

教 育 長 佐 藤 照 明

教 育 委 員 平 田 明 美
(教育長職務代理者)

教 育 委 員 榮 利 隆 一

教 育 委 員 梅 澤 秋 久

教 育 委 員 井 上 正 博



愛川町観光キャラクター

あいちゃん